

J A松任青年部 YOUTH SITE



〔JA松任職員と青年部との交流会〕

4月9日(日)に、JA松任職員と青年部との交流会が、松南小学校体育館で開催されました。

この交流会は、盟友やその家族と職員との親睦・交流を深め、より親密な関係・環境づくりや意思の疎通を図ることで、組織間の連携強化や、青年部活動のさらなる充実を目的に開かれました。

当日は、大人と子供が一緒に楽しめるよう

に、柔らかいスポンジ製のフリスビーのような円盤を使ったドッチボール形式の競技(ドッチビー)で行われ、8人を1チームとした各地区12チームでの対抗戦と、子ども達による対抗戦が催されました。この他にも、今年は4支部・職員対抗大縄跳びも行いました。



ドッチビーは、意外にコントロールを定めることが難しく、苦戦していた参加者も多かったようでした。また、ゲームの中では子ども達も大人に負けじと大活躍していて、投げた円盤が大人に当たると、周囲から歓声が上がりが盛り上がっていました。なお、ゲームの中盤には円盤が一つ追加されるというルール

〔地域交流部〕



もあり、ゲームが終わる頃には動きに動いた参加者が汗をたくさん流すほどの白熱ぶりでした。

支部&職員対抗大縄跳びでは、青年部4支部と、中央・北星支店の職員Aチーム、西南・松南支店の職員Bチームが出場し、各チームそれぞれ2回跳び競技を進めていきました。なかなか全員揃って跳ぶことができず回数を伸ばせない中、職員Bチームが2回目に24回跳び、優勝に輝きました。

子ども達の声や、大人の笑い声が会場を包み、非常に和やかな雰囲気での交流会を終えることができました。

なお、各成績は以下のとおりとなりました。

地区対抗ドッチビー

優勝 中央支部B

準優勝 林中地区

第3位 柏野地区

支部&職員対抗大縄跳び

優勝 職員B(西南・松南支店)



〔中奥菜の花祭り〕

〔中奥青年部〕

4月16日(日)、中奥公民館で毎年行われている中奥菜の花祭りに、今年もポン菓子作りで参加させていただきました。

1時間前から菜の花祭りの準備で会場に活気が出てくる中、盟友もポン菓子の準備に取り掛かります。昨年もポン菓子作りを行ったのですが、1年ぶりの作業のため手順に少し不安が…。作り方を互いに確認しながら進めていきました。この日は風が非常に強く、火を使う作業のため、急遽、中奥公民館からシートを借りて、風よけを作成し、作業を進めました。

9時に祭りが開催され、ポン菓子を並べると、すぐに売り切れ

になるほどの人気でした。一度作るのに20分ほどかかるため、「もつしばらくお待ちください。できたてをお渡しします。」とお願いしました。

また、盟友のお子さんも来ていたので、大人たちが見守る中で、ポン菓子づくりを体験させてあげました。おなじみのあの大きな音に子どもたちは目が点になり、笑い声が溢れました。

無事に中奥菜の花祭りも終わりました。ご来場いただきました皆様、お世話になった公民館関係者の皆様、ありがとうございました。

【剣崎なんば種まき】

～林中地区青年部～

4月9日(日)、くらた農産のビニールハウスにおいて剣崎なんばの種まきを行いました。昨年収穫したなんばの優良な種を選別し、今年もたくさん収穫できるように丁寧に種をまきました。

今後はなんばの成長にあわせて露地植えを行い、収穫にむけて本格的に生育状況を見ていかなければなりません。

収穫したなんばは加工して、なんば味噌としてまいどさん市場で販売しており、昨年は販売エリア拡大に成功しました。現在はAガイヤ、Aコープでも販売しております。なんば、白山レッド餃子のなんばの原料提供にも協力しています。夏の収穫にむけて、盟友一同大切に育てていきます。



【山島の郷 酒米振興会の一員として！】

PKシリカ散布作業

～山島地区青年部～

3月18日(土)に、「山島の郷 酒米振興会」が栽培する酒米にPKシリカを散布しました。

地元の酒蔵に良質の酒米を供給するため、山島地区では「山島の郷 酒米振興会」が結成され、会では「五百万石」をはじめとした酒米を栽培しています。

会ではよい酒米作りのためにPKシリカという土壌改良資材を会員の圃場に散布しています。が、なんとこのPKシリカは10a当り40kg散布せねばならず、会員の皆さんには大きな負担となります。

そこで我々山島青年部は、その会の一員としてPKシリカの散布作業をお手伝いさせていただくことになりました。

散布当日は、地元の農業生産法人(株)ヤマジマより散布機、ダンブを貸して頂き、さらには散布の手ほどきまで頂戴しました。

機械を使用する農作業に最初は戸惑う盟友もいましたが、徐々に要領が分かってくると、作業や圃場移動もスムーズになりました。

そんなこんなで終わってみると、12tのPKシリカを30haの圃場全てに無事散布し終えました。

もちろん作業後の懇親会では地元の酒蔵の手取川で乾杯し、疲れた体を癒しました。

山島地区青年部では、これからも清酒の地産地消の推進に取り組んでいきます。

